

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶ 今月号の特集は「全身拡散強調画像の歴史と発展」です。序文（竹原論文）を読んで、そういえば、人口に膾炙するにはネーミングが大事であるということから、印象重視の PETgraphy から発音重視の DWIBS に落ち着いたという逸話も思い出しました。DWIBS は FDG-PET 類似の検査として多臓器を俯瞰できることに加えて、非造影・無被曝で繰り返し撮れる利点があります。その使用法には、①悪性腫瘍の検出、②悪性腫瘍治療中の経過観察、③膿瘍イメージングの3つがあります（片平論文）。②の例として罹患率が高く（女性の第1位）、転移も多い（約半数に転移を起こす）乳癌の経過観察に適しています（印牧論文）。また DWIBS は、前立腺癌の腫瘍量や転移部位に応じて治療法を変える層別化時代に対応した選択肢です（吉田論文）。

▶ 今回も総説や診療の論文は読み応えがあります。石山論文では頭蓋底、特に central skull base の画像診断について概説しており、病変の局在や性状の評価に有用な MRI に加えて、骨変化も CT と併せてみることで、病変の状態を把握することができることを強調しています。小林論文では神経内分泌腫瘍診療に有用なソマトスタチン受容体シンチグラフィの注意点として、ソマトスタチン受容体 2a (SSTR2a) の発現密度が低い場合は偽陰性となることが挙げられています。徳江論文では、lgG4 関連疾患と、原発性悪性腫瘍や悪性リンパ腫などとの鑑別が重要で、アミノ酸トレーサーの ^{18}F -FAMT 陰性と、糖トレーサー ^{18}F -FDG 陽性所見が鑑別の一助となりうるようです。

▶ 症例論文を読むことは臨場感高く追体験できる利点があります。CD5 陽性 DLBCL は陰性に比べて、中枢浸潤の危険が高く、予後も悪いです（奥村論文）。Sjögren 症候群などの慢性炎症が背景にある場合の耳下腺腫瘍の鑑別として、ワルチン腫瘍や HIV 関連リンパ上皮嚢胞よりも、MALT リンパ腫がはるかに鑑別上位に挙げられます（田畑論文）。セフトリアキソン (CTRX) による偽胆石症でも胆嚢炎/胆管炎を起こすことは知っておかなければならないでしょう（田崎論文）。また、人体は3次元的な立体構造のため、画像データの評価は横断像にとらわれず、多方向からの生体組織の観察が大事であることが再確認されます（岸川論文）。さらに、前立腺癌の神経内分泌分化が疑われる場合は、ソマトスタチン受容体シンチグラフィが有用です（松田論文）。

▶ 今月の症例は典型像に親しむことで明日からの診断に役立ちます。骨パジェット病の脛骨病変は骨端からではなく、骨幹部から始まる blade 状になります（北原論文）。

▶ 毎回、同じ思いを開陳して申し訳ありませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針を持つ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てて頂ければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第64巻第3号

2019年3月10日発行（毎月10日発行）

定価（本体 2,600 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 39,700 円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。